

企画展示のご紹介

あき な むし
秋の鳴く虫



- 期間：9月6日（土）～9月21日（日）
- 会場：こんちゅう館 がくしゅう室
- 内容：秋の夜、暗闇から聞こえる虫の声。

ピッ・ピリリッ♪、リーン・リーン♪...
この声の主は？どうやって鳴いている？
実際の鳴き声に耳を傾け、秋の風情を
感じましょう。

トンボ



- 期間：10月4日（土）～11月3日（月・祝）
- 会場：こんちゅう館 多目的ホール
- 内容：秋の昆虫の代表格「トンボ」。

その存在は古くから親しまれてきました。
そんなトンボの体のつくりは？
どんな暮らし？どんな種類がいる？
トンボの不思議に迫ります。

こんちゅう館 News

企画展「秋の鳴く虫」 企画展のスター

ハヤシノウマオイ *Hexacentrus hareyamai*

バッタ目 キリギリス科



オス (×2.7倍)

こんちゅう館ウラ話 白バック撮影

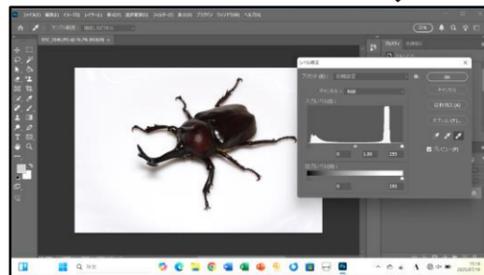
最近の昆虫図鑑では、生きた昆虫の背景を真っ白にした「白バック」の写真をよく見かけます。
白バック写真にすることで、色味や質感をわかりやすく表現することができます。

ここでは、私なりの白バック写真の撮影方法をご紹介します。(内田)

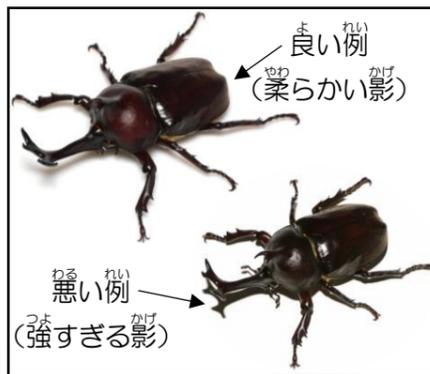


光沢紙 お皿

撮影しただけでは背景が完全な白には
ならないため、画像編集ソフトを使って
背景が真っ白になるよう調整します。
有名なソフトでは、Photoshop (有料)
や GIMP (無料) があります。



白バック撮影には、白い背景となる
ものが重要です。背景となるものには、
白くてツルツとしたガラス製のお皿や、
写真印刷用の光沢紙などを使います。



編集を行い、ゴミを取り除いたり
色味を調整したりします。
柔らかい影があると、よりリアルな
感じを表現できます。

昆虫に興味のない方でも「ウマオイ」という名前は聞いたことがあるのではないでしょ
うか。ハヤシノウマオイは林の近くの草むらなどにすみ、オスは8月～10月ごろ
「スイーチョン」と独特な鳴き声を聞かせます。肉食性が強く、トゲの生えた前あしで
小さな昆虫を捕らえて食べます。飼育するときはリンゴや小型のバッタなどを与えます。
企画展「秋の鳴く虫」で展示するため、鳴き声をたよりにオスを採集するのですが、採集
は思ったほど簡単ではありません。鳴き声を実際の居場所からずれて聞こえたり、移動しな
がら鳴いたり、周囲の気配を察知してすぐ鳴き止んだりするためです。(松尾)

※広島県にすむウマオイの仲間は、「ハヤシノウマオイ」のほか、より早いテンポで鳴く別種の
「ハタケノウマオイ」がいます。



イベント情報
はこちら

こんちゅう館フォトギャラリー ~こんちゅう館周辺で見られるトンボたち~

こんちゅう館の好物樹木園には「トンボの池※」という小さな人工の池があり、止水を好むトンボたちが生息しています。また、こんちゅう館のある森林公園には小川（ジャブジャブ川）があり、川にすむトンボも見ることができます。ここではこんちゅう館周辺で見られるトンボの一部を紹介いたします。（藤井） ※トンボの池はイベント時のみ公開しております。

すべて実物大

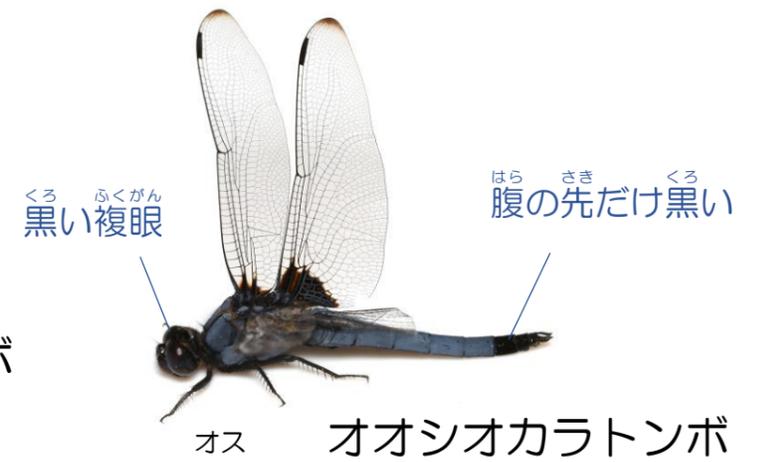
- ▲ こんちゅう館周辺で見られる時期
- ◆ こんちゅう館周辺で見られる場所
- 分類(科)



- ▲ 7月~8月
- ◆ 林業体験広場までの道、ジャブジャブ川
- オニヤンマ科



- ▲ 7月~10月
- ◆ トンボの池、林の中
- ヤンマ科



- ▲ 6月~9月
- ◆ トンボの池、ジャブジャブ川
- トンボ科

- ▲ 7月~9月
- ◆ トンボの池
- トンボ科



- ▲ 7月~9月
- ◆ トンボの池
- トンボ科



木に囲まれた池に多い

- ▲ 4月~7月
- ◆ トンボの池
- ヤンマ科



- ▲ 7月~8月
- ◆ トンボの池
- トンボ科



しょうくう む と 上空を群れで飛ぶ

- ▲ 6月~10月
- ◆ 芝生広場
- トンボ科



- ▲ 6月~9月
- ◆ トンボの池
- イトトンボ科

- ▲ 5月~10月
- ◆ トンボの池
- イトトンボ科